

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評 価 対 象	評 価 項 目	具体的数値項目		自己 評価	外部 アンケート等			
Ⅰ 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①学校行事に、生徒の70%以上が満足している。	・生徒の実態に合わせ、特色があり魅力的な学校行事の実施	A	A	A	本年度は各行事を予定通り実施することができた。球技大会や文化祭など生徒会係が中心となり生徒主体の運営を行うことで、92%の生徒が学校行事に満足しているとの回答であった。	・新型コロナの分類が変わり、学校行事を実施することができてよかった。 ・多くの生徒が桐工定時制に満足していることがよくわかった。この状況を継続して欲しい。
		②資格指導に、生徒の70%以上が満足している。	・生徒に興味関心を持たせるよう、指導内容を検討	C	A	B	工業科ではガス溶接、アーク溶接の資格の全員取得を目指しており、83%の生徒は満足しているとの回答であった。その反面、教員からは電気工士や数検など更なる取り組みについて前向きな回答もあった。	
		③主体的に課題研究に取り組んだと自己評価している生徒が70%以上である。	・自主的、主体的な課題設定 ・課題研究発表会へのICT機器等の積極的導入	A	A	A	90%の生徒がテーマ設定も含め課題研究に主体的に取り組んでいるとの回答であった。自己評価ではすべての職員が主体的に取り組ませているとの回答もあり、課題研究発表会での成果発表の機会を継続したい。	
		④「桐工を好きだ」と感じている生徒は、80%以上である。	・生徒の主体的な行事の企画や運営を組織で支援	A	A	A	88%の生徒が桐工が好きだと回答しており、学校としての魅力を伝えるため、引き続きすべての生徒が満足するような授業や学校行事の工夫を行っていきたい。	
Ⅱ 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	⑤生徒の学力等の実態を踏まえた学習指導に、生徒の70%以上が満足している。	・生徒の学習改善と教師の指導改善に繋がる評価方法の工夫 ・授業形態の多様化	A	A	A	88%の生徒が授業はわかりやすく満足していると回答している。自己評価ではすべての職員が、基礎基本の定着や学び直しも考えた授業展開を行っているとの回答もあり、引き続きICTなどを用いわかりやすい授業を展開したい。	・アンケート結果からもクロムブックが授業等で活用されていることがわかった。 ・実習をとおして基礎基本を身につけ、専門教育を充実して欲しい。
		⑥実技・実習系科目の授業に生徒の70%以上が満足している。	・少人数、パート別によるきめ細やかな授業の展開	A	A	A	96%生徒が実技系の授業に満足しており、少人数かつパート別の実習が生徒の実態に合致していると考える。引き続き工業技術科として必要な技術、技能を精選し、安全かつわかりやすく教える工夫を行いたい。	
	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦意欲的に授業に取り組み、学習に対する達成感・満足感を持つ生徒が、70%以上である。	・授業へのICT機器の導入 ・基礎学習の徹底に向けた教材の工夫と学習に遅れのある生徒への補習の実施	A	A	A	88%の生徒が授業を大切だと考えており、理解できたときは楽しいと感じている。学ぶ喜びを感じ学力の定着を図るため、授業へのICT機器の活用など授業の工夫を継続することを考えたい。	
Ⅲ 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧生徒情報の共有化を毎日実施している。	・職員室における日常的な情報交換の活性化による情報共有 ・打合せ会議の活用	A		A	毎日の昼会では生徒状況について報告する場を設けており、職員全体でで生徒の状況を把握し指導することができた。すべての職員から生徒の情報交換やチーム指導に努めているとの回答を得た。引き続き継続したいと考える。	・複雑な事情を抱える生徒を受け入れ、学び直しなど丁寧に指導していただいてありがたい。 ・スクールカウンセラーと連携をとりながら、生徒に寄り添う指導をお願いしたい。 ・自動車に乗る生徒もいると聞いているが、交通事故には注意してもらいたい。 ・運動部の活躍に期待している。
		⑨登下校時を中心に生徒への声かけを毎日行い、生徒理解と人間関係の構築に努めている。	・チャイロ利用の実施 ・年2回以上の生徒面談を実施し、信頼関係を構築	A	A	A	自己評価では100%の職員が生徒への声掛けを行い、信頼関係の構築に努めていると回答し、生徒の80%が学校生活で疑問や悩みを気軽に相談できると学校職員がいるとの回答があった。日々の積み重ねを通し信頼関係を構築したい。	
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的にを行っていますか。	⑩いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。	・生活アンケート等の活用 ・教育相談、個別面談の実施 ・職員間の情報共有と連携強化およびSCの積極的な活用	A	A	A	96%の生徒がいじめを許さないという気持ちを、生徒も職員も持っていると感じている。自己評価では100%の職員がいじめ問題や生徒間の人間関係等に注意しているとの回答があり、引き続き生活アンケートや、教育相談等の面談の機会をとおり、いじめ防止、早期発見に努めたい。	
		⑪欠席率が15%以下である。	・家庭との密な連携 ・教育相談体制の充実	A	B	B	1学期の欠席率は15.2%、2学期は14.0%であった。生徒の84%がよほどのことがない限り学校を休まないようにしていると考えており、保護者の74%も規則正しい生活を過ごさせるように家庭で話し合っているとの回答を得た。	
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫問題行動の未然防止に努め、特別指導を行う件数は2件以下である。	・全職員による指導の充実 ・職員間の情報共有並びに連携強化	A	A	A	1年間問題行動で指導をされる生徒は0件であった。自己評価でもすべての職員が個々の生徒の理解度や性格に応じて対応することを心掛け、声かけや観察を通して生徒の微妙な変化に気を配っていると回答している。	
		⑬交通事故（入院以上の被害・加害）が0件である。	・交通安全教室の実施 ・自転車点検の実施	A	A	A	年間で2件の軽微な自転車での事故があった。自己評価、外部アンケートでも普段から交通ルールやマナーを守るように指導している、心掛けているとの回答を得た。交通安全教室や全校集会の機会に交通安全について継続的に指導していく。	
		⑭体力作りや心身のリフレッシュ等で部活動に参加する生徒が50%以上である。	・良好な対人関係の構築 ・上位大会出場等を目指した活動内容の充実と活性化	B	A	B	38%の生徒が部活動に加入しており、加入している生徒の93%が放課後の活動を楽しんでいる。引き続き部活動への参加を促し、上位大会出場から心身のリフレッシュまで、個に応じた指導に心掛ける。	
		⑮進路情報を月1回以上生徒に提供している。	・ハローワーク等との連携と生徒への積極的な情報提供	A	A	A	外部アンケートでは92%の生徒が将来の就職や職業など、進路に関する情報を生徒から聞いていると回答している。今後も進路指導部を中心に日々の授業の中でも積極的に進路情報を提供できるように努めたい。	
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	⑯進路に関するLHRを4年間で10時間以上実施している。	・LHR等を活用した進路ガイダンス等の進路指導計画的な実施	A	A	A	進路指導部を中心に進路ガイダンスを企画し、働くことの意義や県立産業技術専門学校についての理解を深めることができた。	・希望するすべての生徒の進路が決定しているとのことで安心した。今後も生徒の進路実現に向けた取り組みに期待している。 ・生徒に興味関心を持たせ、就業意欲の高揚に努めてほしい。
		⑰生徒の進路希望や将来について話し合っている家庭（保護者）が70%以上である。	・PTA懇談会の活用 ・必要に応じた情報の提供や三者面談の実施	C	B	B	76%の生徒が自分の進路希望や将来について家族に話したり、相談したりしていると回答した。保護者への進路情報の提供や三者面談など保護者の意見も反映できるような指導を継続したい。	
		⑱将来の就職・職業を視野に入れアルバイト等で就業している生徒が60%以上いる。	・求人情報の提供 ・計画的なキャリア教育の実施とキャリアパスポートの活用	A	A	A	67%の生徒が将来を見据えアルバイトをしている。また、キャリアパスポートの記入を通じ、自分の将来像を考える機会を設けている。89%の職員が進路実現に向けてアドバイスをしており、72%の保護者は生徒の取り組みを理解している。	
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑲進学・就職を達成できた生徒が70%以上である。	・資格取得の奨励 ・進路指導部としての組織的な対応と支援	A	B	B	進路指導部、担任が連携し指導にあたることで、4年生の71%の生徒が希望する進路に進学・就職することができた。卒業時に進路希望が決まらない生徒は、ぐんま若者サポートステーションに繋げるなど家庭と連携しながら対応したい。	
Ⅴ 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑳定時制のWebページを2ヶ月に1回以上更新している。	・Webページ更新の組織的な取組 ・行事等の紹介と報告	A	C	B	広報係を中心に、学校行事終了時や部活動などの活動報告を随時Webページに掲載し更新している。（月2回程度）保護者の78%はWebページを見ているが、生徒は36%しか見ていないことがわかった。今後とも積極的に情報発信を心掛けたい。	・授業参観や学習成果発表会など、保護者が参観できる機会を増やして欲しい。 ・学校ホームページで生徒の活躍を配信できている。
		㉑学校からの配布物で適切な情報が提供され、学校の様子が良く分かると保護者の70%以上が回答している。	・行事等の案内配布 ・毎月の行事予定表の配布 ・年5回以上の学校通信の配布とWebページへの掲載	A	A	A	外部アンケートでは80%の生徒が78%の保護者が配布物等で学校の様子を理解していると回答している。今年度5回の学校通信を発行し、Webページに掲載した。今後地域に積極的に学校の様子を伝えることを心掛ける。	
		㉒PTA懇談会、授業参観等に積極的に参加している保護者が30%以上である。	・通知及び出席確認の工夫 ・学校生活に慣れた時期に授業公開を実施 ・進級や学校生活で心配な生徒・保護者に三者面談を実施	A	C	C	本年度、23%の保護者がPTA懇談会、授業参観に参加した。（昨年度は3%）とりわけ、1年生の保護者の参加が63%など日頃の保護者との連携が実を結びつつある。案内の方法を工夫し、保護者が学校に目を向ける機会を設けたい。	
		㉓桐工定時制の取組みに保護者の70%が満足している。	・生徒一人一人へのきめ細やかな指導の実施 ・全職員での組織的な対応	A	A	A	外部アンケートでは100%の保護者が桐工定時制に通わせていることに満足していると回答している。また、自己評価でもすべての職員が保護者の要望に応えられるように努めていると回答している。	
Ⅵ 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	㉔Chromebookを授業等に持参または、活用している生徒が70%以上である。	・Chromebookを使い、調べ学習や課題提出等の手段として活用させる。	C	C	C	自己評価では58%の職員が、外部アンケートでは68%の生徒がChromebookを持参し活用していると回答している。引き続きICT機器を活用した授業を実践し、活用することで生徒に興味、関心を持たせたい。	・クロムブックを有効活用した学習指導が行われているのはよいと思う。今後もさらに活用の場を広げて欲しい。
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	㉕Chromebookを使い、アンケートや授業の課題提出等に活用している生徒が70%以上である。	・Classroomを用いて周知連絡や課題提出等を実践し、業務の省力化と用紙を節約する。	C	B	C	72%の生徒が日常的にChromebookを授業等でツール（調べ学習や課題提出等）で活用していると回答した。Classroomなどを用い、職員が工夫することで業務の効率化やペーパーレス化を促進する。	